

加賀検定

第8回 加賀ふるさと検定試験問題

上級 (全60問)

2020年 12月20日

加賀ふるさと検定・おもてなし講座実行委員会

各問題に対して、それぞれ①～④までの選択肢の中に正解が1つあります。解答用紙に、正解と考える番号を1つだけ○で囲って下さい。(黒色のエンピツもしくはボールペンを使用のこと)

- 1 当地の郷土料理（ ）は、もともと漁師が船上で調理した漁師めしが起源とされ、近年、金沢方面でも知られるようになってきた。
①カレイの一夜干し ②こんかいわし ③メギスの浜煎り ④ノドグロの姿焼き
- 2 昭和30年代頃まで、雨の日や強い日照りのときは、イグサを原料とした（ ）を着用する人が多くみられた。
①被り莫蓆^{かぶりごぎ} ②着莫蓆^{ごぎ} ③蛇の目莫蓆^{ごぎ} ④背当て莫蓆^{ごぎ}
- 3 動橋町の振橋神社には、昔、村内に毒蛇がいて、娘たちを奪っていくことがあり、住民を苦しめていたが、たまたまこの地を訪れた（ ）が退治したという伝説がある。
①オオヒコノミコト ②イザナミノミコト ③オオナムチノカミ ④スサノオノミコト
- 4 山中温泉東谷地区に属する（ ）町は、東谷地区の中では最も標高が高く、大聖寺川上流域に位置している。
①杉水 ②大土 ③今立 ④真砂^{まなご}
- 5 （ ）は、日本海を通る船が目印にしたことから舟見山とも呼ばれた。
①白山 ②富士写ヶ岳 ③鞍掛山 ④大日山
- 6 橋立丘陵の広い範囲において「かなくそ」と呼ばれるところが点在しているが、これは、（ ）の生産跡で、今もその残骸を見ることができる。
①土器 ②鉄 ③陶器 ④瓦
- 7 大聖寺川河口に位置する「鹿島の森」は、国の天然記念物に指定されており、アカテガニや（ ）などの珍しい生物が生息している。
①ノミハマグリ ②ツルガマイマイ ③ヤマトシジミ ④カバサクラガイ
- 8 加賀市内でも外来種の動物が多く生息し生態系に大きな影響を与えている。私たちがよく見かける（ ）も外来種の仲間である。
①キバト ②クロバト ③ドバト ④アオバト
- 9 加賀市には、ため池が多く、そのため、（ ）のような止水性のトンボを多く見かける。
①ハグロトンボ ②オニヤンマ ③ギンヤンマ ④ムカシトンボ

- 10 大聖寺藩士、東方芝山は、藩政改革を藩主に提言したり、伝統産業の振興に尽力し、晩年は（ ）に隠居した。
① 塩屋村 ② 小塩辻村 ③ 細坪村 ④ 柴山村
- 11 大聖寺穴虫出身の（ ）は、三井物産に入社し以後、芝浦製作所社長を経て、大正15年、日本放送協会の初代会長に就任した。
①磯村 年 ②梅田五月 ③岩原謙三 ④大塚志良
- 12 黒川良安の甥にあたる（ ）は、明治12年、江沼郡でコレラが発生したことをきっかけに金沢病院大聖寺分病院の初代院長となり、江沼郡の医療活動に貢献した。
①馬島健吉 ②稲坂謙吉 ③竹内玄同 ④渡辺卯三郎
- 13 代々十村役を務める家に生まれた（ ）は、紙屋谷4カ村の受け持ちとなり、水利の悪いこの地に紙谷用水を完成させ73町歩の田と10町歩の新田を灌漑した。
①西野庄与門 ②鹿野小四郎 ③鹿野源太郎 ④橋本平四郎
- 14 深田久弥は、昭和5年に「オロッコの娘」を発表し作家活動に入り、同8年には、小林秀雄や川端康成らが創刊した（ ）の編集同人に加わった。
①新思潮 ②改造 ③文芸春秋 ④文学界
- 15 熊本市出身の（ ）は、起業家山田長太の知遇を得て大聖寺に在住し、昭和初年に、「絹業週報」、「聖域公論」等の新聞を発刊したり、『大聖寺藩史』などを出版した。
①森本仁平 ②宮永盛雄 ③三森定男 ④宮本謙吾
- 16 藤の木遺跡から出土した数多くの土器の中には、北陸特有の古府式土器や（ ）式土器・大杉谷式土器のほか、東海・近畿系土器や関東系の土器が混在している。
①新保 ②御経塚 ③上山田 ④中屋
- 17 猫橋遺跡は弥生時代後期の遺跡で「北陸の登呂遺跡」と称されており、出土した土器の形から（ ）文化圏との結びつきが極めて強いことが分かった。
①中京 ②畿内 ③山陰 ④東海
- 18 黒瀬・南郷古墳群には約85基もの古墳が密集している。そのうち吸坂A3号墳は全長（ ）の市内最大の前方後方墳である。
① 60m ② 70m ③ 80m ④ 90m

- 19 弘仁 14 年、江沼郡の北半分が能美郡として分立し、新しい江沼郡には、^{ながえ いみなみ やま}長江・忌浪・山
^{しろ たけはら ぬかだ すがなみ}背・竹原・額田・菅浪・(^{さえぐさ})・三枝の 8 郷または郡家郷を加えた 9 郷が置かれた。
 ①^{おしお}小塩 ②^{や た}八田 ③^{まつやま}松山 ④^{こさか}小坂
- 20 山代温泉薬王院の「木造十一面観音像」は、平安時代末期の白山信仰の本地仏として貴重な仏像であるが、もともとは () の本尊として祀られていたものである。
 ①那谷寺 ②実性院 ③慈光院 ④極楽寺
- 21 寛治 5 年、^{ふじわらのためふさ}藤原為房が加賀国府から () を中継点として敦賀津へ向かった記録があり、当時の貴族たちが京と加賀の往来に船運を利用していたことが分かる。
 ①^{あた かみなと}安宅湊 ②^{あわづのとまり}淡津泊 ③^{あわづ ほ}粟津保 ④^{みくにみなと}三国湊
- 22 元弘 3 年、福田庄菅浪郷総領地頭・菅生社神主の () が能美郡の国人らと共に、討幕運動を展開中の足利高氏に参陣して新政府に属する態度を明確にした。
 ①^{うわぎただひろ}上木忠広 ②^{か の よししげ}狩野義茂 ③^{か の よりひろ}狩野頼広 ④^{やまぎしただいえ}山岸忠家
- 23 江沼郡の民衆が最初に時宗の念仏に接したのは、正応 4 年の () による北陸遊行であった。
 ①^{ち しん}智真 ②^{ち とく}智得 ③^{たいくう}太空 ④^{しんきょう}真教
- 24 延徳 3 年、室町幕府の前管領細川政元に同行した () は、それまでの浜道を通らずに、越前吉崎から橘・荻生・敷地・作見・動橋・矢田などを経て越後へ向かった。
 ①^{にじょうためさだ}二条為定 ②^{れいぜいためまさ}冷泉為尹 ③^{れいぜいためひろ}冷泉為広 ④^{さんじょうにしさねたか}三条西実隆
- 25 長享 2 年の春、将軍足利義尚に従軍していた加賀国の守護、富樫政親は () の陣を引き払って帰国し高尾城の防御を固めたが、一向一揆に攻められて自害した。
 ①尾張 ②大和 ③若狭 ④近江
- 26 弘治元年、越前の朝倉宗滴が一向一揆を潰滅させるために (^{きんごがじょう}) の金吾ヶ城に本陣を構えたが、宗滴が発病し越前に引き上げたために、江沼の一揆勢は事なきを得た。
 ①橘 ②荻生 ③作見 ④敷地
- 27 大聖寺藩士飛鳥井清は旧名を () 一之助といい、明治以降、九谷陶器会社や鉛筆製造を行なうために加州松島社を設立するなど、郷土の産業発展に多大な貢献をした。
 ①生駒 ②佐分 ③一色 ④野口

- 28 大聖寺の俳人岩田鳴球^{いわためいきゆう}は、明治31年に同人雑誌「無し箆（虫箆）」を発行した。その題字は（ ）が書いたもので、当時、新体制の俳句雑誌として全国的に注目された。
- ①河東碧梧桐^{かわひがしへきごとう} ②山口誓子^{やまぐちせいし} ③高浜虚子^{たかはまきよし} ④種田山頭火^{たねださんとうか}
- 29 山代温泉出身の齋藤隆現^{さいとうたかひで}は、幼くして薬王院温泉寺や福井県三国の滝谷寺^{たきだんじ}などで修行を重ね、昭和11年には（ ）の第54代化主^{けしゅ}（住職）に就任した。
- ①長谷寺^{はせでら} ②醍醐寺^{だいごじ} ③金剛峯寺^{こんごうぶじ} ④智積院^{ちしゃくいん}
- 30 （ ）は山中漆器職人の父親などから轆轤挽き技術^{ろくろび}を学び、その後、挽き物木地に直接、漆を塗布し磨き上げる「拭き漆^{ふうるし}」技法を開発し、山中漆器の名声を高めた。
- ①築城良太郎^{ついきりょうたろう} ②会津屋由蔵^{あいづ やよしぞう} ③蓑屋平兵衛^{みのやへいべい} ④大下雪香^{おおしたせっこう}
- 31 大聖寺藩では、『芟憩紀聞』『藩国見聞録』『加賀江沼志稿』『秘要雑集』など多くの著書が編纂された。このうち『藩国見聞録』は、弘化2年に（ ）が著述した。
- ①塚谷沢右衛門 ②宮永嘉告 ③小塚秀得 ④奥村永世
- 32 大聖寺藩では、天保元年頃まで伊切・浜佐美・篠原新の3か村で専売制により塩を製造した。塩釜数は3か村の中で伊切村が最も多く、江戸後期に（ ）あった。
- ① 13 個 ② 15 個 ③ 17 個 ④ 19 個
- 33 大聖寺藩祖前田利治は、万治3年4月に江戸で死去した。このとき、中沢久兵衛、小沢三郎兵衛、小栗権三郎の3人が殉死したが、小栗は5月に（ ）で自害した。
- ①宗英寺 ②寛慶寺 ③全昌寺 ④久法寺
- 34 大聖寺藩主2代前田利明は、万治3年8月に越中新川郡7か村分の4322石余と加賀藩領の能美郡馬場・島・串など（ ）分の4302石余とを交換した。
- ① 6か村 ② 7か村 ③ 8か村 ④ 9か村
- 35 大聖寺藩は、文化10年7月に串村甚四郎の茶問屋の独占体制を廃し、一時的に大聖寺町の（ ）を茶問屋に任命した。
- ①吉田屋伝右衛門 ②大和屋七右衛門 ③矢田屋清右衛門 ④田中屋十左衛門
- 36 山口玄蕃宗永は、千利休に茶の湯を学び、（ ）の年寄衆や毛利輝元・小早川隆景などととともに茶会を開き、能楽にも通ずる当時の文化人であった。
- ①京都 ②大坂 ③博多 ④堺

- 37 大聖寺藩では、江戸前期から中田・長谷田・上原・塚谷村の「紙屋谷」で日常紙や御料紙を生産した。このうち、御料紙は（ ）の大茂谷家と角屋家で製造された。
 ①塚谷村 ②上原村 ③長谷田村 ④中田村
- 38 大聖寺藩の組付十村には、鋤役米（鋤米）が支給された。鋤役米とは（ ）～60歳の男子から米2升を徴収したものである。
 ① 14歳 ② 15歳 ③ 16歳 ④ 17歳
- 39 大聖寺藩領の北国街道には、慶長年間（1596～1615）に橋駅・大聖寺駅・動橋駅・月津駅などの宿駅が置かれていた。このうち（ ）は駅馬数が最も多かった。
 ①橋 駅 ②大聖寺駅 ③動橋駅 ④月津駅
- 40 伊能忠敬ら測量隊8人は、享和3年6月24日から27日まで大聖寺藩領の沿岸を測量し、大聖寺町の板屋や松屋、（ ）の肝煎宅、橋立村の因随寺などに宿泊した。
 ①塩屋村 ②瀬越村 ③上木村 ④片野村
- 41 大聖寺藩主9代前田利之は、文政4年12月に加賀藩主12代（ ）の願書により幕府から10万石の待遇が公認された。
 ①前田重教しげみち ②前田齊広なりなが ③前田治脩はるなが ④前田齊泰なりやす
- 42 大聖寺藩主12代前田利義としのりは、嘉永5年に（ ）を金沢野町に遣わし、吹屋ふきやの村山四郎兵衛に大砲の鑄造を命じたが、資金不足のため21挺中の3挺しか完成しなかった。
 ①西出源蔵 ②角谷與次郎 ③酒谷長市 ④久保彦兵衛
- 43 家老の2代村井主殿は、宝永6年に大聖寺藩主3代前田利直の意を受けて、（ ）の建築意匠けんちくいしょうを採り入れた川端御亭かわばたおちん（現長流亭）を建造したといわれている。
 ①千仙室 ②古田織部 ③金森宗和 ④小堀遠州
- 44 大聖寺関所の柵門は、明治2年に関所が廃止されたとき、家老（ ）の口利きくちきで山ノ下寺院群の一つである宗寿寺の境内に移された。
 ①前田氏 ②生駒氏 ③山崎氏 ④佐分氏
- 45 大聖寺川の河口に位置する塩屋町には、陸続きの鹿島の森があり、平安時代には天台宗の霊場が、また江戸時代には（ ）と称する法華宗の道場があった。
 ①萬宝院 ②東寿院 ③慈光院 ④薬王院

- 46 大聖寺（ ）には、九谷焼初期の伝世品とされる「古九谷色絵孔雀図平鉢」があり、初期京焼の色絵陶器や中国明末の色絵磁器に類似することが指摘されている。
- ①本善寺 ②願成寺 ③全昌寺 ④実性院
- 47 宝永元年に創建された天満天神社を起源とする江沼神社には、市指定文化財の「能面能装束」があり、このうち能装束3領は（ ）によって奉納されたといわれる。
- ①前田利之 ②前田利平 ③前田利義 ④前田利啓
- 48 享和2年に法橋位に叙せられ、その後、加賀藩御用絵師を務めた佐々木泉景は、その代表作の一つである「群鹿図屏風」を大聖寺の（ ）に残している。
- ①全昌寺 ②菅生神社 ③実性院 ④山下神社
- 49 明治11年におこなわれた明治天皇の北陸巡幸は、8月30日に東京を出発し、江沼郡入りをしたのは（ ）月6日のことであった。
- ① 9月 ② 10月 ③ 11月 ④ 12月
- 50 大津事件でロシア皇太子ニコライの命を救った江沼郡出身の北ヶ市市太郎は、事件後、ロシア政府 から当時の金額で（ ）円の報奨金が与えられた。
- ① 200 ② 800 ③ 1,200 ④ 2,500
- 51 昭和16年から20年までの太平洋戦争で犠牲となった石川県関係の戦没者は2万人を超えているが、このうち江沼郡の戦没者は（ ）人であった。
- ① 845 ② 1,223 ③ 1,536 ④ 2,455
- 52 明治25年の江沼郡役所の歳出を見ると、役場費・土木費・教育費・衛生費・勸業費など合計39,204円で、このうち（ ）費が最も多く、全体の46%を占めていた。
- ①土木 ②教育 ③衛生 ④勸業
- 53 明治11年、当地大聖寺町で創業した八十四銀行は、昭和2年、世界恐慌や織物業の不振などで休業に追い込まれ、翌3年、（ ）銀行として再編された。
- ①明治 ②大正 ③昭和 ④再生
- 54 加賀市（ ）町では、地租改正後の明治19年と農地改革後の昭和26年の2回、田地が見舞われたことで、地割(田地割)を実施した。
- ①中島 ②柴山 ③潮津 ④合河

- 55 政府は GHQ の指令に基づき、昭和 22 年に農地改革を実施した。これにより江沼郡では、小作地が 23.2%あったものが、約()%に減少した。
① 6 ② 8 ③ 10 ④ 12
- 56 江沼郡では、明治 13 年頃までにおよそ 40 の小学校が設立された。これにより、その就学率も明治 6 年は()%であったものが、明治 10 年には 40%に上昇した。
① 8 ② 18 ③ 21 ④ 28
- 57 加賀市の工場団地は、従来からの宇谷野工場団地と小塩辻工場団地に続き、現在、分譲を開始している()産業団地の 3 ヲ所がある。
①新保 ②片山津 IC ③伊切 ④潮津
- 58 山中温泉の松浦酒造の「獅子の里」は、()付近から湧き出る名水を仕込水としてつくっている。
①鶴仙溪 ②菊の湯 ③医王寺 ④長谷部神社
- 59 現在、山中温泉文化会館内に事務所を置く「山中商工会」は、昭和 35 年に初代会長に()を選任してスタートした。
①桂田又作 ②中曾根治郎 ③山田耕三 ④田中 實
- 60 令和 2 年現在、JA 加賀の正組合員は約()人で、これらの組合員は青壮年部や女性部、各生産部会に所属し、より質の高い農産物の栽培や販売方法などについて研究している。
① 2,000 ② 4,000 ③ 6,000 ④ 9,000